

令和3年度（2021年度）公共事業再評価調書

令和3年度（2021年度）公共事業再評価調査										基準年月日		令和3年8月1日						
調書番号		06-07		所管部		農政部		作成責任者 担当係		農政部農村振興局農地整備課長 磯嶋 光世 水田整備係（内）27-568								
Ⅰ 基本事項（基準日時点）																		
事業種別		道営土地改良事業費（農地整備事業（経営体育成型））						地区名		信砂		市町村名	増毛町					
事業費		3,450 百万円		負担割合		国 55.0%		道 32.5%		市町村		その他 12.5%						
						1,898 百万円		1,121 百万円		百万円		431 百万円						
事業目的・目標		●良質米の安定生産および転作作物の生産性向上を図る。 ●農作業効率の向上および水管理の合理化により労働時間の縮減を図る。 ●担い手への農地集積を図る。 ●事業実施により安全・安心な食の生産をささえる。				事業概要		信砂川及び新信砂川の河川沿いで、山地に囲まれた傾斜地に位置する本地区において、良食味米の安定生産を行うため、安定した用水供給や営農作業及び維持管理の軽減に対応できる農業用水施設の整備を行う。また、区画整理により現況10a程度の区画を40a程度に拡大し、併せて排水改良のために暗渠排水、排水路の改修整備と転作作物の生産性向上のために客土を行う。										
		【アウトカム】等 ●事業実施前（H25年（2013年））の担い手農地利用集積率（受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合）は90.6%だが、本事業を実施することにより事業完了翌年には98.7%と上昇が見込まれる。				工事費内訳		受益面積 231ha → 219ha 受益戸数 23戸 → 20戸 ○用水路 16,660m → 18,346m ○排水路 5,230m → 2,623m ○区画整理 188ha → 186ha ○測量設計費 ○用地補償費 電柱移設 85本→21本 ほか										
								計				1,800		3,450				
総合計画での位置付け		施策名		農業農村整備の推進				総合計画：大項目		経済・産業								
		総合計画：中項目		農林水産業の持続的な成長				総合計画：小項目		着在力のフル発揮で地域の経済・社会を支える農業・農村づくり								
		施策目標		地域の固性や創造力を活かした農業・農村の持続的発展に向けて「いのちの源「食」の生産をささえる」「多様な担い手と地域をささえる」「豊かな農村環境をささえる」の3つを整備の基本方針とし、地域の実情に即した生産基盤等の計画的な整備を進める。				関連する指標		食料自給率（カロリーベース） 令和7年度（2025年度） 目標値：258%								
Ⅱ 公共事業評価経過																		
（単位：百万円）																		
事業経過	事前評価又は当初	H26 (2014)	H26 (2014)	評価年度	完了予定	H34 (2022)	経過年数	事業費	総事業費(a)		道負担額		当該年度事業費		累計事業費(b)		進捗率(b)/(a)	
	前回評価									1,800	585							
	今回評価	H26 (2014)	H26 (2014)		R3 (2021)	R5 (2023)			7	3,450	1,121		469		2,611		76%	
	変更理由・内容													(1)区画整理について、調査の結果、礫処理を計上したことによる事業費の増 (2)区画整理について、暗渠排水の掘削機種を変更したことによる事業費の増 (3)区画整理について、調査の結果、客土面積が増えたことによる事業費の増 (4)区画整理について、耕作者の変更に伴い整備要望が変化したことによる事業量、事業費の増 (5)用水路及び排水路について、施設配置計画見直しによる整備延長の増及び減 (6)資材及び労務単価や消費税率の上昇による事業費の増 (7)事業量、事業費の増に伴う完了予定年度の延伸 (8)区画整理について、水処理及び湧水処理の追加による事業費の増 (9)区画整理について、客土土取場で不良土が発生したことに伴う事業費の増 (10)用水路について、数鉄板敷設が必要となったことによる事業費の増 (11)積算基準の改正による事業費の増				
Ⅲ 事業採択前の状況																		
1. 事業採択に至る経過と背景		本地区は、川沿いに発達した狭い堆積平野であり、下層には礫層があり表土が薄く悪条件な現状である。また、基盤整備の未整備区域であり、一筆当たりの平均面積が13aと小区画で不整形なほ場が多く作業効率が非常に悪い状況となっている。さらには、用排水路も土水路のため漏水による水不足が発生し生産性が低い状況であり、地域全域において生産作物の生育不良や品質低下が著しい。農家戸数の減少も問題であり、水田農業従事者の平均年齢は63歳と高齢化しており、後継者不足も深刻な課題である。増毛町の水田面積は10年間で80ha以上減少しており、これ以上の減少は地域農業の崩壊にも繋がるため、現在の水田面積を守るための基盤整備は急務であることから、増毛町より事業採択に向けた要望がされた。																
2. 事業検討の手續（住民への把握等）		● H21年(2009年)5月 増毛町から留萌振興局に調査計画を要望 ● H24年(2012年)4月 振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ● H25年(2013年)3月 土地改良法に基づき事業申請 ● H26年(2014年)4月 事業採択																
3. 事業効果を及ぼす地域・対象		● 増毛町 受益面積231ha、受益戸数23戸																
4. 関連する事業		事業名		事業主体		事業期間		事業費(百万円)		事業内容								
Ⅳ 事業の実施状況																		
(1) 事業実績及び今後の計画																		
		施工（工種）区分		工事内容		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	進捗状況	事業費(百万円)
		用水路		L=18,346m													61%	520
		排水路		L=2,623m													37%	196
		区画整理		A=186ha													61%	2,122
		測量設計費		調査・設計													94%	559
		用地費と補償費		用地買収・物件補償													44%	53
1. 進捗状況																		
(2) 進捗状況																		
本地区の南東（山側）から北西（海側）に向かって整備を進めている状況であり、区画整理は地区の約6割を完了している。事業量、事業費の増加に伴い事業期間を延伸しているが、事業は完了に向けて予定どおり進捗しており、今後の実施にあたって大きな支障となるものはない。																		
		b		a：概ね予定どおり実施している。 b：事業計画・期間等を変更し実施する。 c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。														
2. 事業効果		経済効果の内訳（百万円）				費用の内訳（百万円）				B/C		備考						
		項目		R3現在		項目		R3現在		R3現在		・「土地改良事業の費用対効果分析マニュアル」（農林水産省H30改正）に基づき算出 ・経済効果の合計と費用の合計は、「工期＋40年」の累計で算出しR3年度に現在価値化している。 ・費用の合計は現在価値化しているため事業費と異なる。 ・農業用排水施設と接続する上流用排水施設等にかかる費用を「関連施設」として計上している。 ・維持管理費削減効果は、現施設の維持管理費に対して、再整備した場合の維持管理費の増減及び事業を実施せず現施設がなくなった場合の維持管理費の増減の合計により、マイナスとなる。						
		作物生産効果		1,795		農業用排水施設		1,374										
		品質向上効果		912		区画整理		2,673										
		営農経費削減効果		2,664		関連施設		819										
		維持管理費削減効果		△ 292														
		災害防止効果		2														
		国産農産物安定供給効果		226														
		合計（B）		5,307		合計（C）		4,866		1.09								
		前回算定年度：H24年度（2012年度）【事前評価】 前回算定時B/C：1.32 変更理由： ・事業費の増加に伴う総費用の増加 ・効果算定手法が確立された国産農産物安定供給効果の追加による総便益の増加 ・諸係数・単価等の時点修正による効果額の変更																
3. コスト縮減などの取組		取組の項目		取組内容										縮減額(百万円)				
		施工の最適化		排水路工において、基礎に再生骨材を使用しコストを抑制。										1				
		発注時期の最適化		営農調整等農家協力のもと早期発注の検討を行い、冬期施工に係る経費の抑制を図る。														

V 評 価							
1. 必要性	●地域農業を取り巻く現状と課題に変化はなく、これらに対応するための農業基盤整備の必要性に変化はないため、早期事業完了を目指す必要がある。						
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定とおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。					
2. 事業を推進する 上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●本地区は、増毛町が作成した田園環境整備マスタープランにおいて環境配慮区域に位置付けられている。 ●信砂川、新信砂川に接する本地区の整備にあたっては、汚濁水の発生防止に十分配慮している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。						
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●事業着手以降毎年、増毛町土地改良事業推進期会を通じて整備促進の要望が行われている。						
	(3) その他の課題 ●特になし						
3. 事業達成の 見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望とおりの予算を配当する必要がある。						
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。					
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指して事業を継続する。						
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止					
	事業期間変更の有無		有	事業費変更の有無		有	事業内容変更の有無
VI 備 考							
1. 評価履歴	事前評価： 平成24年度（2012年度）評価 評価結果： 要望を行うことは妥当 B/C=1.32 再評価： 該当なし						
2. その他の取組 事項							

Ⅶ 事業計画変更						(単位：百万円)								
事業経過 又は当期	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)		
			H26 (2014)	H26 (2014)				H34 (2022)		1,800	585			
	変更①		H26 (2014)	H26 (2014)	H26 (2014)			H34 (2022)		2,360	767			
	変更②				H30 (2018)			H35 (2023)		3,098	1,007			
	変更③	1回目			R3 (2021)			R5 (2023)		3,450	1,121	469	2,611	76%
	変更④													
	変更⑤													
	変更⑥													
	変更⑦													
	変更⑧													
	変更⑨													
変更⑩						7								
変更理由・内容	変更①：事前評価から採択申請までに生じた変更 ・区画整理について、調査の結果、ほ場下層部に礫が確認されたことから、この処理費用の計上に伴う事業費の増 ・区画整理について、上記に伴い暗渠排水掘削機種を変更したことによる事業費の増													
	変更②：事業量・事業費の変更 ・区画整理について、表土厚調査の結果、客土未実施ほ場において作土厚が不足していることが判明したため客土面積が増えたことによる事業費の増 ・区画整理について、耕作者変更に伴い、整地工及び暗渠排水工施工を要望された事による事業量、事業費の増 ・用水路及び排水路について、さらなる大区画化に伴い施設配置を見直したことによる整備延長の増及び減 ・資材及び労務単価や、消費税率の上昇による事業費の増 事業期間の延伸 ・事業量、事業費の増に伴い、施工期間を再検討したことによる完了予定年度の延伸													
	変更③：事業費の変更 ・区画整理について、整備ほ場の隣接地からの水処理及び湧水処理の追加による事業費の増 ・区画整理について、暗渠排水施工時の掘削土に多数の礫が混在しているため礫処理を追加したことによる事業費の増 ・区画整理について、客土土取場の一部で不良土が発生したため、採取範囲を変更したことによる事業費の増 ・用水路について、工事用道路の地耐力不足から敷鉄板敷設が必要となったことによる事業費の増 ・資材及び労務単価の上昇による事業費の増 ・積算基準の改正による事業費の増													

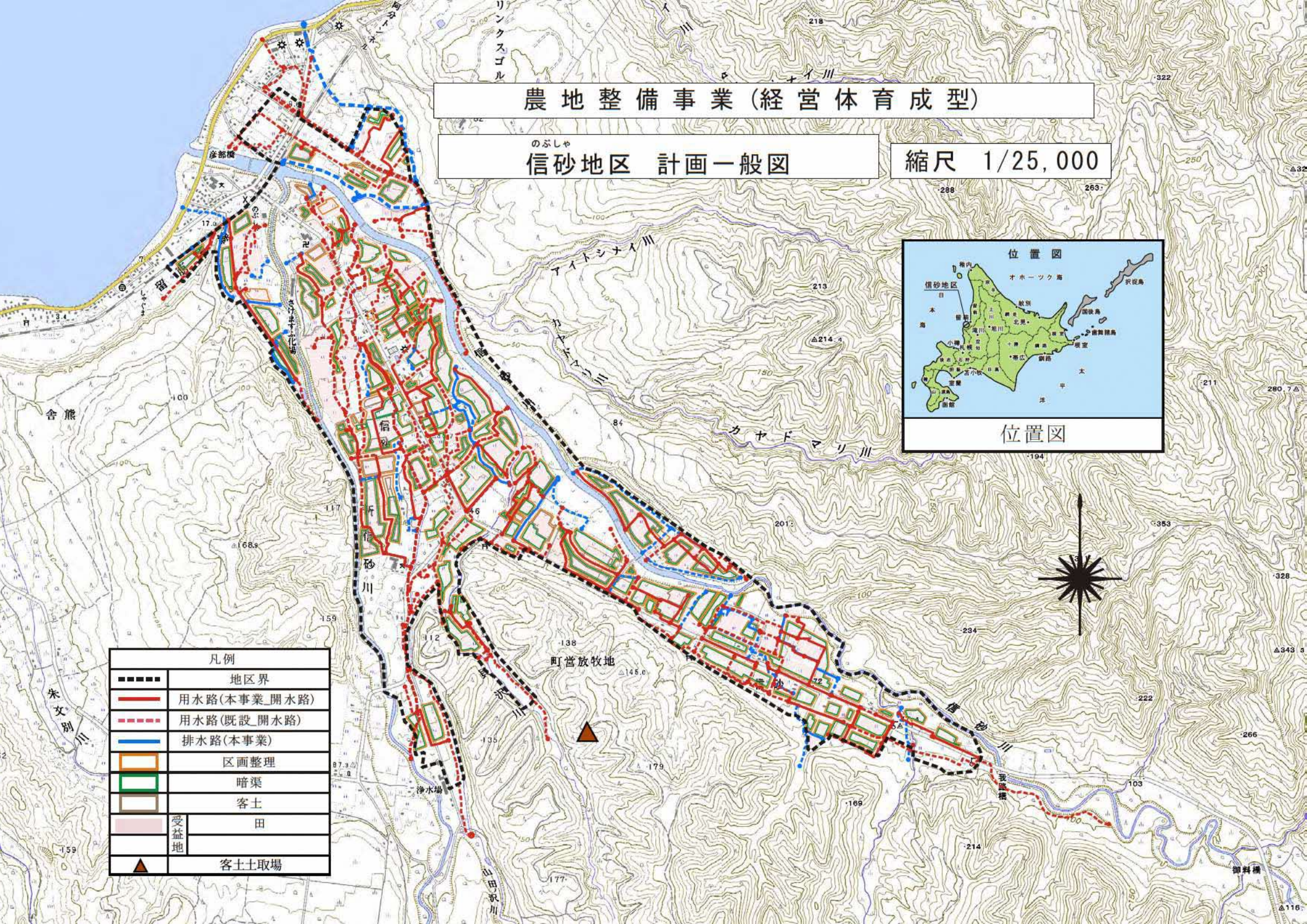
農地整備事業(経営体育成型)

信砂地区 計画一般図

縮尺 1/25,000

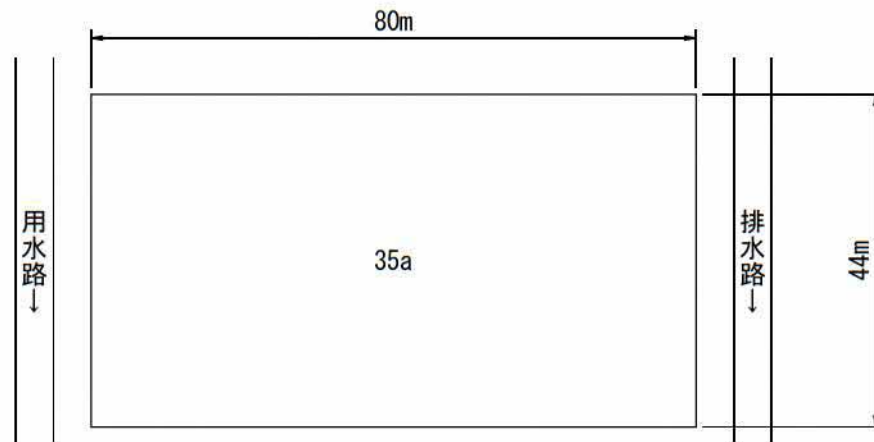


凡例	
■■■■■	地区界
———	用水路(本事業_開水路)
- - - - -	用水路(既設_開水路)
———	排水路(本事業)
□	区画整理
□	暗渠
□	客土
■	受益地
■	田
▲	客土土取場

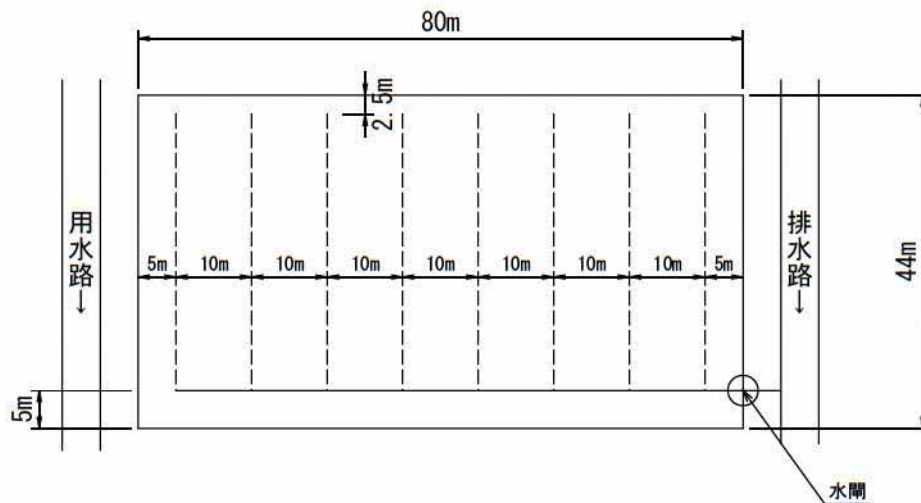


標準構造図

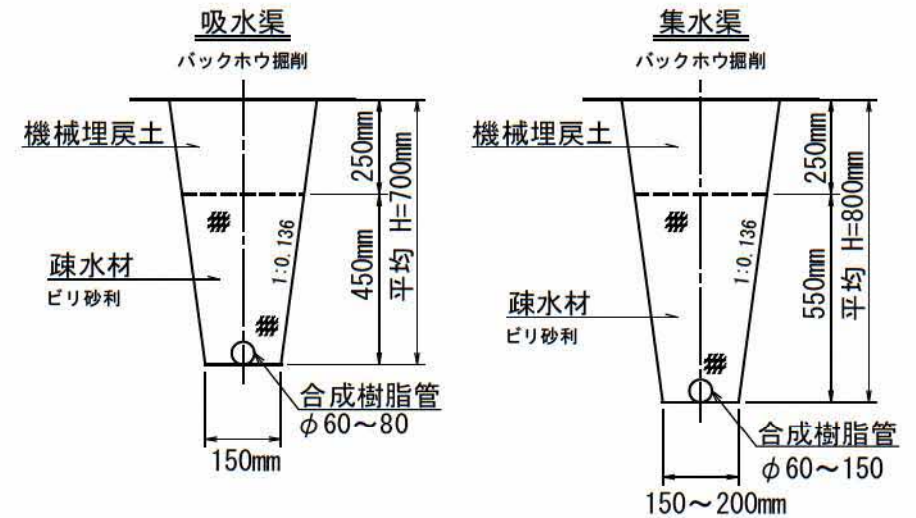
区画整理工標準区画



暗渠排水配線図

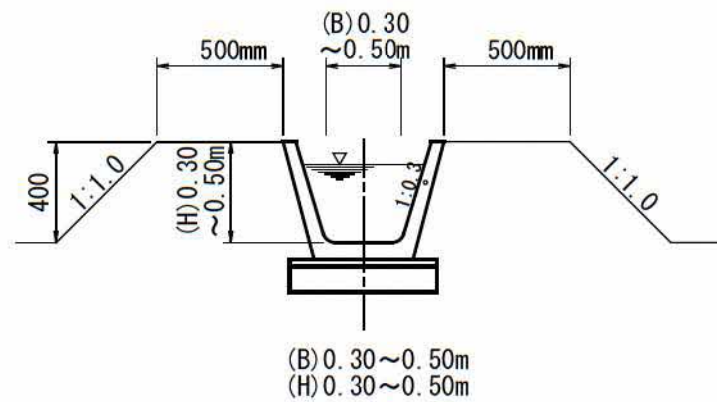


暗渠排水定規図



用排水路標準断面図

用水路



排水路

